

令和4年10月26日付【日本下水道新聞】  
下水道関係団体の提言  
〈下水道を魅力ある職業に 会長 間山 一典〉

## 下水道を魅力ある職業に

会長 間山 一典



下水道は、地域の安全で衛生的な環境を守る重要な社会基盤施設です。これを次世代に、健全な状態で引き継いでいかなければなりません。普及のための整備は概成を迎えつつありますが、今後は地域の実情に応じて、老朽化対策、災害対策など、持続のための事業展開が求められます。

加えて、下水道は、資源循環や創エネ・再エネなどのポテンシャルを持っています。

国が推進するカーボンニュートラルや農業分野への下水汚泥利用、再生可能エネルギーなどに貢献できる、新たな役割が生まれようとしています。

コンサルタントにとって人材確保が生命線であり、下水道が、将来に向けて魅力ある職業であることが必要条件です。安定的な予算の確保と新たな取組みの強化を要望します。